

# 栗原市地震防災マップ

## 地域の危険度マップ 花山地区

### 長町—利府線断層帯の地震の場合

○この地域の危険度マップは、地域が揺れやすさマップ(長町—利府断層帯の地震)において示された強震(震度の揺れ)の場合に、地震の液状化の影響を含めてその程度の建物被害(全壊及び半壊相当)が生じるかを100メートルメッシュ毎に評価し、相対的に表示したものです。

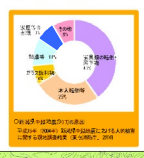
○地震の発生状況によっては、被害の状況がこれよりも大きくなったり、小さくなったりすることがあります。

○長町—利府断層帯は、仙台市から利府町にかけて、ほぼ南北に延びる長さ約40kmの活断層です。約3000年に一度程度の割合で繰り返し地震を起し、最後の活動は約2000年前ではなかったかといわれています。マグニチュード 7.1の地震を想定しています。

#### 家具の地震対策も重要です。

##### ■ 家具の対策

- 住宅の全壊を免れても、ガラスの鏡やタンス等の大型家具の転倒、テレビや電子レンジ等の家電製品が壊れてくるという、日常生活には想像できない事象によって、恐ろけがした。避難が建れて式具に巻き込まれたりすることがあります。新築県中地区においても住宅所有者の約1割はガラスの鏡や家具類の転倒・落下によるケガによる被害を受けています。
- 家具や家電製品の地震対策としては、次のようなものが考えられます。
- 固定家具を用いて家電や家電周辺品
  - ガラス製の鏡やタンス等の大型家具の転倒、テレビや電子レンジ等の家電製品が壊れてくることなど、日常生活には想像できない事象によって、恐ろけがした。避難が建れて式具に巻き込まれたりすることがあります。新築県中地区においても住宅所有者の約1割はガラスの鏡や家具類の転倒・落下によるケガによる被害を受けています。
  - 固定家具を用いて家電や家電周辺品
  - ガラス製の鏡やタンス等の大型家具の転倒、テレビや電子レンジ等の家電製品が壊れてくることなど、日常生活には想像できない事象によって、恐ろけがした。避難が建れて式具に巻き込まれたりすることがあります。新築県中地区においても住宅所有者の約1割はガラスの鏡や家具類の転倒・落下によるケガによる被害を受けています。



#### 地域の危険度マップとは

地域の危険度マップは、地震による建築物(木造)被害をその被害の程度に応じてランク別けした上で、地図に示したものです。具体的には、「揺れやすさマップ」で示した揺れの強弱となった場合に、地震の液状化(※1)の影響を含めて、全壊(※2)程度の被害を受けると想定される建築物(木造)の割合を「危険度」としています。

○地震による死亡・ケガの原因は何？  
 阪神大震災での死者のうちの約8割は地震直後の家具、建物による圧死といわれています。

○皆さんの生命・財産を守るためには、  
 住宅・建築物の耐震化が極めて重要です。



#### 建物の耐震化が重要です。

##### ■ 木造住宅の耐震診断

木造住宅の耐震性は、主に3つのチェックポイントがあるとされています。

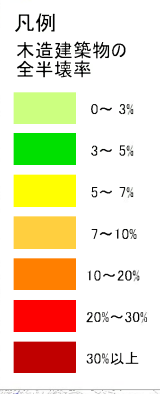
- 建てられている、お家の年月が経っているか(特に昭和56年以前に建てられたものか)。
- 住宅が過去に大きな災害(地震や水害など)を経験したことがあるか。
- 住宅の構造、形、編り大きな窓がくさんあるなど、耐震に関わる基本的な住宅の性質に問題がないか。

耐震性の判断には建築の専門知識が要求されます。目立った症状がなくても、耐震診断を受けることが重要です。次のような項目に心当たりがある住宅は、特に要注意です。

- ドアあるいは窓を閉めるとき、柱と建具との間に著しい程長の三角形の隙間が空いている。
- ドアあるいは窓の建付けが悪く、建具の開閉が変形のために思うよういかない。
- 窓の敷居が著しく水平を欠いている。
- 建物の壁面が傾斜しているのが、肉眼でもわかる。
- 床面の傾斜が著しく感じて感じる。
- シロアリの発生(4枚羽根のついたしろアリ)が浴室から出てくる。
- 屋根の棟あるいは軒先が歪んでいる。
- モルタル塗壁に長いひびのびひび割れが入っている。
- 浴しや浴室の土台の一部が老朽化している(腐っているなど)。



大崎市



<<問い合わせ先>>  
 栗原市 建設部 建築住宅課  
 TEL 0228-22-1153  
 FAX 0228-22-0313

※このマップにおいて、市の境界部等で、計算上、色の塗られていない箇所があります。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平9第8号、第990号)

